# 事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

# 【事務事業の基本的事項】

事	務	事	業	名		流通対	寸策推過	<b>進事業(産業</b>	美連携プロ	コジェ	クト推進	事業	)		
担	当	課	係	名	農	林	課	政策	調整	係	作成者	Ė	菔	泰村幸	子
	A 1	. –			施策の大綱	特色あ	5る資源	原を活かした	産業創造	造のま	ち			総合	計画の
総位	合 討置		」で づ	のけ	基本計画	物産の	開発と	≤販売の促進	Ē					~	ージ
122	_		-	.,	主要施策	地場盾	<b>E</b> 農産物	物を利用した	特産品、	加工	食品の開	発支	援	6 0	• 6 1
予	算		費	目	一般	会計	6 款	農林水産業績	費 1項	農	業費	3	目	農業排	長興費
事	業	į	期	間	平成 19	年度 ~	平成	21 年度	新規	規/継	続の区分			継続	ē
性	質		X	分	□ 市民サ	ナービス		公共事業 [	施設約	隹持管	理 🗸 袝	輔助金	È 🗌	内部	部管理
根	拠	法	令	等	仙北市「やる	ぞ!アグ	゙゙ビジフ	プラン 」応援	事業実施	要領					
事	務		X	分	☑ 自治	<b>当事務</b>		□ 法定	受託事務						
運	営		方	法	直直		直営(	一部民間委託	)	民間	委託(全部	ß)	<b>~</b>	補	助

### 【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	農林水産業者及び農林水産業者が組織する団体等
事業の目的・意図 (どういう状態に したいのか)	仙北市の農山村の活力を維持・増進するため
事業の内容 (どのような業務、 活動を行うのか)	農林漁業と他産業との連携のもとに実施するアグリビジネスに新たに参入を希望するまたは既に実施しているアグリビジネスの業務拡張に投資する経費の一部を補助する。

# 【事務事業の推移】

			J	頁		目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績
	:13	E+h						目標	件		4	3
	活動指	響	新規参	目標 件   実績 件   達成度 %	4	3						
効	JII	3.						達成度	%		100.0%	100.0%
果	成	<sub>■</sub>							%		100.0%	100.0%
	指	標	補助						%		80.0%	75.0%
	ji	,,,		(∃	<b>ミ施半)</b>			達成度	%		80.0%	75.0%
			項		目			総事業	費	18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)
	事	業	費(人件	費を	を除く)	(A)					956	750
	人 件 費 (B)										1,211	1,189
l		耶	職 員 数								0.15	0.15
投 下		耶	職員平均人件費								8,071	7,925
$  \neg  $		(A	) + (B)	投	下コス	۲					2,167	1,939
スト		Ξ	国庫	支	出	金						
	財	ļ	支		出	金						
	財源内訳	ť	t.	方		債						
	訳	7	2	の	)	他						
		-	- 般		財	源					2,167	1,939
単位	活重	加指	標1単位)	当た	リコス	ト(円)					541,750	646,333
コスト	市	民	1人当たり	ງທ	コスト	(円)					69	62

### 【事務事業の今までの成果】

平成19年度事業・・農家起業家新規3人、直売所業務拡大1件。 平成20年度事業・・農家起業家新規2人、直売所直売所新規1件。

#### 【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	国・県・他自治体ではこのような補助制度はありません。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	個人負担を緩和させるために、市の負担割合の引き上げの要望あり。

#### 【一次評価】

判	定		業	の	方	向	性	判	定	に	至	つ	た	理	由
		Α	現状のま	ま継続(	(実施)										
		B 1	見直しの	上で継続	売(拡大	;)		□ □							
											で約7件のアグリヒ				
	4	B 3	見直しの	上で継続	売(縮小	١)				≨業として実 €の開拓をす					
(	1	C 1	大幅な見	直しの」	こで継続	(拡大	)	ほかの							
	•	C 2	大幅な見	直しの」	こで継続	(手段	改善等)	ること;							
		C 3	大幅な見	直しの」	こで継続	(縮小	)	とした。							
		D	休止・廃	止(統合	を含む	)を検討	する事業								
		Е	終了(完	成及び目的	りを達成	し終了し	ノた事業)								

一次評価の判定がB~Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容(改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。)

当事業は、3年前からの継続事業であるが、今後も農山村の活力の維持、増進を図るため、農林漁業者のアグリビジネスにおいてかかる投資的経費の一部応援をするため、引き続き事業の継続が望まれる。

#### 【二次評価】

判	定		判	定	に	至	つ	た	理	由	
В	1	補助効果の検ます。	証やフォ	ローアッ	ップの実	施を含め、	必要7	な見直し <sup>;</sup>	を行いつ	つ推進すべ	きと考え

